

令和2年度事業報告

第Ⅰ はじめに

令和2年1月に始まった新型コロナウイルス感染症の世界的規模での拡大は未だ収束が見えず、山口県下においても経済活動への打撃は大きく、県内経済は依然として厳しい状況であり、シルバー人材センター事業(以下「シルバー事業」という。)にも契約金額の減少など大きな影響が続いている。

こうした状況下、公益社団法人山口県シルバー人材センター連合会(以下「連合会」という。)においては、会員拡大、就業機会の拡大、安全就業の推進、適正就業の確保、労働者派遣事業の拡充等を柱とした「第3次中期基本計画」に掲げた「令和2年度事業計画」に基づき、国・自治体並びに関係機関の理解と支援の下で県下のシルバー人材センター(以下「センター」という。)と一体となって積極的な事業展開に取り組んできた。

しかしながら、コロナ禍にあって、年度当初に感染を心配する多くの会員が退会し、加えて入会説明会の中止や会員募集PRの機会である地域のイベントの中止等により新規入会会員が伸び悩み、2年間増加していた会員数は9,549人(対前年比マイナス227人、2.3%減)と大きく減少する結果となった。

また、契約金額も、コロナ感染症拡大の影響を大きく受け、加えて、派遣事業においては、主要派遣先の手スーパーの定年引上げにより半数以上の派遣会員が直接雇用となり、契約額が大きく減少し、41億8,698万円(対前年比マイナス2億3,422万円、5.6%減)となった。

シルバー事業の要である安全就業については、令和元年度に2件、令和2年度には3件の重篤事故が発生し、非常事態となった。

請負・委任事業の傷害事故は50件(前年度55件)、損害賠償事故も51件(前年度55件)と減少した。

労働者派遣事業の事故は通勤途上を含む労災事故が4件(前年度5件)発生、請負・委任事業と同様に件数は減少しているものの、引き続き、事故防止が課題となっている。

今後も事故ゼロを目指し『安全は全てに優先する』ことを再認識し、役員、職員、会員が一丸となって、更に安全対策の徹底を図ることが重要である。

適正就業の推進については、「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」に沿った就業に努めるとともに、全センターにおいて「受注リスト」による点検を行い、労働者派遣事業へ切り替え等の適正化を図った。

令和2年度の個別の事業実施状況は、以下のとおりである。

第Ⅱ シルバー人材センター事業実施状況

1 普及啓発活動・会員拡大の推進

センター事業の意義、理念及び事業活動を県民各層に広く周知するとともに、シルバー事業への理解と参加を求めるため普及啓発活動を行った。

全国で取組む「第2次会員100万人達成計画」に基づく会員拡大目標とそれに対応する就業延人員目標を定めて「PDCAサイクルによる目標管理」を行い各センターとともに会員拡大を目指した。

- (1) 連合会会報「連合会やまぐち」を年2回、9月と1月に発行（500部×2回）
- (2) 「山口県広報誌（ふれあい山口）」に会員募集広告を5月号と11月号に2回掲載
- (3) 県立図書館及び県内スーパー（14店舗）にポスター・チラシを掲示
- (4) 会員募集及びシルバー事業の普及啓発広告を6月、9月、11月、1月、2月に新聞掲載、8月に24時間テレビ、10月にラジオCM大賞の協賛を行い、ラジオCM大賞では応募作品が大賞を獲得し、CM放送が追加された。
- (5) 普及啓発月間の10月には、KRYラジオ、テレビに出演しPRを行った。
- (6) 連合会ホームページでのシルバー事業の周知、普及啓発の実施
- (7) 連合会、シルバー名を掲載した「カレンダー」の作成
- (8) 会員募集のぼり旗作成（266本）
- (9) 事業運営状況の作成、配付によるシルバー事業の周知（300部）
- (10) 地域貢献事業としての県警との連携による防犯、交通安全対策の啓発活動のチラシを作成配付（500部×2種）
- (11) 山口県主催の「からだ測定会」に協力し、シルバー事業のPRを行った。（10会場延べ13日）
- (12) 会員拡大検討チーム委員会の開催

名称	開催日	内容
第1回	令和2年8月27日	①会員数実績状況について ②令和2年度の目標設定状況について ③令和2年度の取組等について
第2回	令和2年11月20日	①会員数実績状況について ②令和2年度の取組等について
第3回	令和3年2月18日	①会員数実績状況について ②令和2年度の取組等について

2 調査研究の実施

シルバー事業を発展・拡充するため、高齢者の雇用・就業ニーズや社会経済の変化に適合したシルバー事業に必要な分析等を行った。

- (1) シルバー事業運営状況の作成（第Ⅱの1の(9)再掲載）
- (2) 各シルバーの事業実績の収集、集計分析及び情報提供
- (3) 各シルバーの事故状況の収集、集計分析及び情報提供

3 安全・適正就業の推進

シルバー事業において、会員の安全就業は基幹をなすものであり、県内全域で安全就業対策及び法令遵守（コンプライアンス）に沿った適正就業を効果的かつ着実に実施するため、委員会、会議等を開催するとともに、情報提供及び指導助言を行った。

また、「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」に沿った就業の適正化を図り、受注リストの点検を行った。

- (1) 安全委員会の開催

名称	開催日	内容
第1回	令和2年5月22日	①令和元年度事故状況について ②安全就業優良シルバー人材センターの選定について ③安全就業推進大会について
第2回	令和2年7月21日	①令和2年度事故状況について ②令和2年度安全パトロールの実施について ③重篤・入院(30日以上)事故状況について
第3回	令和3年1月28日	①令和2年度事故状況について ②令和2年度安全パトロールの結果について ③令和3年度事業の取組について

(2) 安全パトロールの実施

連合会安全委員が安全就業推進のため、作業現場のパトロールを以下の7センターで実施、パトロール終了後、安全就業等について意見交換を行った。

①	令和2年9月9日	(水)	宇部市 SC
②	令和2年9月15日	(火)	美祢市 SC
③	令和2年9月28日	(月)	岩国市 SC
④	令和2年10月16日	(金)	下松市 SC
⑤	令和2年10月21日	(水)	防府市 SC
⑥	令和2年10月23日	(金)	山陽小野田市 SC
⑦	令和2年11月5日	(木)	長門市 SC

問題点

- ・ 法面の傾斜が急で、注意を要する作業場所があった。
- ・ 刈払機の作業で石飛防護ネットの使い方、作業者の間隔の取り方が不十分な作業場所があった。
- ・ 携行缶の置き場所が不適切なところがあった。

好事例

- ・ 班長が笛を適時使用し作業指示を行っていた。
- ・ 救急箱の置き場所に緑十字の看板を立て備えていた。
- ・ 草刈作業者と草集め作業者が分担し、効率よく且つ安全に作業を行っていた。

(3) 班長・リーダー研修会

開催日 令和3年2月9日 (火)

場 所 県土連ビル

参加者 23名

- 講 義 ① 「安全就業対策について」 ～安全パトロールの事例から～
山口県シルバー人材センター連合会 安全委員会委員長
山口市シルバー人材センター 理事長
城市 正幸
- ② 「事故発生状況について」
山口県シルバー人材センター連合会 事務局長
浜田 美智子

③ 「刈払機・チェーンソーの安全な使用方法について」

三好農園 代表 三好 武 氏

- (4) 事故状況の収集、集計分析及び情報提供 (第Ⅱの2の(3)再掲載)
- (5) 安全のぼり旗作成 (334本)
- (6) 健康診断受診啓発リーフレット作成 (10,000部)
- (7) 安全研修DVD貸出実施 (2本)

4 就業分野の開拓・拡大の推進

会員の豊かな知識・技能の発揮が可能となり、高年齢者の多様な就業ニーズに対応するため、委員会、広報誌等による多様な就業機会の開拓・拡大、コロナ対策を考慮しつつ、新たな就業分野の開拓などの事業展開を行った。

(1) 事業委員会の開催

名称	開催日	内容
第1回	令和2年7月20日	①令和2年度事業の取組について ②会員拡大及び就業機会拡大の取組について ③高齢者活躍人材育成事業について ④適正就業について
第2回	令和3年1月19日	①令和2年度事業の取組について ②令和3年度事業の取組について

- (2) 山口県広報誌及び新聞広告による広報活動 (第Ⅱの1の(2)、(4)再掲載)
- (3) 「シルバーしごとネット」等を活用した受注調整

5 職業紹介事業の推進

職業紹介事業の実施事務所と連携し、臨時的かつ短期的な仕事又はその他の軽易な業務に係る雇用による就業を希望する求職者に対し職業紹介を実施、職業紹介事業に係る統括管理（職業紹介基本契約、入金管理等の会計管理及び行政への各種報告等）を行った。

- (1) 有料職業紹介事業実績 213,450円
- (2) 有料職業紹介事業実施事務所との連携による適正な事業運営
- (3) 職業紹介責任者講習会への参加 参加者 3名（山口県連合合計）

6 労働者派遣事業の推進

労働者派遣事業（以下「派遣事業」という。）の適正な推進を図るため、委員会、情報提供及び指導助言を通じて、派遣事業の実施事務所と連携し、センター会員を対象に就業機会の拡大及び適正就業を進めるとともに、派遣事業に係る統括管理（労働者派遣基本契約、入金管理・賃金支払等の会計管理及び行政への各種報告等）を行った。

また、コロナ感染症拡大に伴う休業に係る休業手当の支給、休業による雇止め等の対応を実施事業所と協力し行った。

(1) 派遣事業実績

項目	令和元年度	令和2年度	対前年度比
受注件数（件）	776	700	90.2%
契約金額（千円）	692,308	648,128	93.6%
就業実人員（人）	1,300	1,160	89.2%
就業延人員（人日）	136,208	124,350	91.3%

(2) 派遣委員会の開催

名称	開催日	内容
第1回	令和2年7月22日	①派遣事業実績について ②通勤手当支給に係る対応方針について ③派遣労働会員就業規則の改正について ④教育訓練について ⑤適正な事務処理について ⑥労務管理の徹底について
第2回	令和3年1月26日	①令和2年度派遣事業の取組について ②令和3年度派遣事業の取組について

(3) 派遣事業所との連携による適正事業運営の実施

派遣先事業所用契約内容確認リーフレット作成（1,000部）

(4) 派遣労働者に対するキャリアアップのための教育訓練を実施

10月20日～11月12日 5会場 177名受講

(5) 派遣元責任者講習会への参加 参加者 8名（山口県連合合計）

7 高齢者活躍人材確保育成事業

山口労働局から受託した高齢者活躍人材確保育成事業を活用し、一般の高齢者や企業に対しセンターを積極的にテレビ、ラジオ、新聞等にて周知・広報するとともに、センターの就業体験、技能講習、セミナー等を開催した。

事業目標、新規会員数75人以上に対し306人の新規入会者があった。

(1) 一般高齢者向け会員募集、シルバー事業の周知について広報実施

テレビCM(月20本×12ヶ月)、ラジオCM(週1本×52週、普及啓発月間放送本数加算)、テレビ、ラジオ番組に出演しPR。新聞広告 1回、新聞折込広告（県下全域382,410部）

(2) 企業向け広報・アンケート実施

パンフレット作成（1,500部）、新山口駅壁面看板設置

アンケート実施対象439社(パンフレット同封)、203社より回答

(3) セミナー 17回、技能講習 14講習、就業体験 6回開催

8 その他の事業等

地域社会のニーズや制度改正等に的確かつ円滑に対応した事業を実施することができるよう、指導・助言、情報提供を行った。

連合会主催の研修、会議等についてはコロナ感染症拡大防止のため今年度は中止と

し、全国シルバー人材センター事業協会主催のオンライン会議への参加を勧めた。

(1) 公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会の会議、研修会への参加

開催日	研修会・会議	出席者数	
		連合会	センター
① 令和2年5月27日(水)	都道府県連合事務局長会議(第1回)	1	
② 令和2年8月20日(木)～	新任事務局長研修		2
③ 令和2年9月25日(金)	都道府県連合事務局長会議(第2回)	1	
④ 令和2年10月9日(金)～	会員拡大・就業開拓担当者会議	3	22
⑤ 令和2年10月21日(水)～	新任理事長研修		1
⑥ 令和2年11月11日(水)	都道府県連合会長会議	1	
⑦ 令和2年11月16日(月)～	適正就業担当者会議	5	42
⑧ 令和2年12月11日(金)～	福祉・家事援助サービス担当者会議	3	32
⑨ 令和3年1月13日(水)	都道府県連合事務局長会議(第3回)	1	
⑩ 令和3年1月15日(金)～	安全就業指導員会議	3	71

(2) 公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会(連合会事務局長が委嘱)個別指導4センター(岩国市、山口市、萩広域、防府市)

(3) 中国ブロックシルバー人材センター連合協議会事務局長連絡会議(オンライン会議)主催

第Ⅲ 法人管理事業実施

1 令和2年度の事業実施状況

「第3次中期基本計画」及び「令和2年度事業計画」に基づき、県内各センターと緊密な連携のもと、積極的に事業を推進してきた。

結果として、会員数は9,549人(対前年度比△227人、2.3%減)となり、3年連続の増加とはならなかった。

また、「契約金額」においても、コロナと派遣先事業所の定年引上げの影響を受け、前年度を下回り41億9千万円(対前年度比△2億3千万円、5.6%減)となった。

全シ協の第2次会員100万人達成計画に基づいて、第3次中期基本計画の目標値と実績を比較した達成率は下表のとおり、すべての項目において未達成となった。

項目	目標	実績	達成率
会員数	10,863人	9,549人	87.9%
粗入会率	2.0%	1.8%	90.0%
就業率	90.0%	83.7%	93.0%
就業実人員	9,775人	7,993人	81.8%
契約金額	4,591,726千円	4,186,985千円	91.2%

2 会議の開催状況

「令和2年度事業計画」に基づき、連合会の運営及び各センターとの連携の事業を協議し、事業を推進するための「総会」、「理事会」のほか、各種会議等を開催した。

(1) 総会

令和2年度定時総会

開催日 令和2年6月23日（火）

場 所 セントコア山口

報告事項

- ① 令和元年度収支予算書一部補正報告の件
- ② 令和2年度事業計画報告の件
- ③ 令和2年度収支予算書等報告の件

決議事項

- ① 令和元年度事業報告承認の件
- ② 令和元年度決算報告承認の件
監査報告
- ③ 役員選任の件

その他（連合会長表彰）

シルバー人材センター事業貢献役員

公益社団法人	宇部市シルバー人材センター	理事	井上	博己
公益社団法人	下関市シルバー人材センター	理事	右田	小夜子
公益社団法人	下関市シルバー人材センター	理事長	齋藤	秀之
公益社団法人	周南市シルバー人材センター	理事	横山	みはる
公益社団法人	防府市シルバー人材センター	副理事長	阿部	裕明
公益社団法人	岩国市シルバー人材センター	理事	谷	忠臣
公益社団法人	山口市シルバー人材センター	常務理事	村田	徹
公益社団法人	下松市シルバー人材センター	理事	吉山	俊則
公益社団法人	光市シルバー人材センター	理事	安田	昭

シルバー人材センター事業貢献職員

公益社団法人	下関市シルバー人材センター	事務所長	水野	千秋
公益社団法人	長門市シルバー人材センター	事務局長	沓野	浩之

優良シルバー人材センター

公益社団法人 下関市シルバー人材センター

安全就業優良シルバー人材センター

公益社団法人 柳井広域シルバー人材センター

(2) 理事（役員）会

名称	開催日	内容（決議事項のみ抜粋）
第1回	令和2年6月8日	①令和元年度事業報告承認の件 ②令和元年度決算報告承認の件 ③令和2年度収支予算書一部補正の件 ④役員選任の件 ⑤令和2年度定時総会招集決定一部変更の件

第2回	令和2年6月23日	①会長の選定について ②常務理事の選定について ③専門委員会(総務委員会)委員の選出について ④重要な職員(事務局長)の選任について ⑤重要な職員(事務局次長)の選任について
第3回	令和2年9月16日	①令和2年度収支予算書一部補正の件 ②シルバー派遣労働会員就業規則一部改正の件
第4回	令和3年2月16日	①令和2年度収支予算書一部補正の件 ②理事会運営規則一部改正の件 ③会員紹介報奨制度実施要領一部改正の件 ④特定費用準備資金計画変更の件
第5回	令和3年3月23日	①令和2年度収支予算書一部補正の件 ②令和3年度事業計画承認の件 ③令和3年度収支予算書等承認の件 ④令和3年度定時総会招集の件 ⑤令和3年度役員賠償責任保険契約の件 ⑥重要な職員(事務局長)の選任について ⑦重要な職員(事務局次長)の選任について

(3) 総務委員会

名称	開催日	内容
第1回	令和2年5月20日	①監事監査について ②連合会理事(役員)会・総会について ③役員及び専門委員会委員選任について ④令和2年度連合会行事予定について
第2回	令和2年6月23日	①委員長選出について ②副委員長選出について ③専門委員会委員選任について
第3回	令和2年9月4日	①理事(役員)会について ②シルバー派遣労働会員就業規則改正について ③連合会行事予定について
第4回	令和3年2月1日	①令和3年度連合会事業について ②理事(役員)会について
第5回	令和3年3月8日	①理事(役員)会について ②令和3年度連合会行事について ③各センター総会について

(4) 事務局長会議

名称	開催日	内容
第1回	令和2年6月18日	①「都道府県シルバー連合事務局長会議」伝達 ②山口県連合会連絡事項
第2回	令和2年10月13日	①「都道府県シルバー連合事務局長会議」伝達 ②山口県連合会連絡事項

第3回	令和3年2月4日	①「都道府県シルバー連合事務局長会議」伝達 ②山口県連合会連絡事項
-----	----------	--------------------------------------

3 シルバー事業支援要請活動の実施

超高齢社会において、センターが就業機会の確保・拡大するための機能の充実を図り、地域ニーズ・政策方針に十分な対応ができるよう、補助金と公共事業の確保について支援要請活動を行った。

要請日 令和2年7月22日（水）

「人生百年時代におけるシルバー人材センターの決意と支援の要望」

要請先 山口県、山口県議会、山口県市長会、山口県町村会

要請者 会長、常務理事、総務委員(2名)